

## いよいよ“冬”

朝の冷え込みが厳しくなってきました。それもそのはず、昨日7日は立冬、(立冬の日付はだいたい決まっています、毎年、11月7日か8日のどちらかです。数十～数百年に一度、もう1日分ズレることもあるのですが、もともと太陽の動きをもとにしているので、ほぼ現在の太陽暦とリンクしています。) いよいよ冬本番です。とはいうものの、実際に1年で一番寒いのは1月後半、これから加速度をつけて、更に寒さが厳しくなっていきます。今年はコロナに加え、インフルエンザの流行も予想されており、寒さ対策、ウイルス対策を十分に行っていく必要があります。特に3年生は受験を控えています。これまで以上に健康管理に留意し、毎日の生活を送ってほしいと思います。ちなみに、立冬は「ココアの日」。毎年、冬の始まりである立冬ごろになると、ココアを飲む人が急に増える・・・という調査結果があるため、立冬の日がココアの日指定されたそうです。受験生にとって、夜は受験勉強の勝負どころ。よく“夜食を食べて頑張る”そんなシーンが頭に浮びますが、食べ過ぎても眠気を誘ってしまい逆効果になるときも・・・そうならないように、「ココアを一杯」というのが良いのかもしれない。また、“頭寒足熱”という言葉もあります。頭を冷やし、体の内側と足先を温かくすることで、効果的に家庭学習を行ってほしいと思います。

頑張れ3年生、寒さや病気に負けるな受験生！(もちろん、1・2年生も！！)



## “冬”と言えば・・・

「冬の食卓に上の料理と言えば・・・」まあ、これも人それぞれだと思いますが、私はやっぱり“おでん”ですね。では、「“おでん”の具と言えば・・・」私はやっぱり“大根”ですね。実は今、学校の畑にたくさんの大根が植えられています。これは、技術科の栽培の授業で植えられたもの。毎日、生徒や用務員さん、学校支援員さん、教頭先生が愛情たっぷりに水をかけられており、そのお陰で、すくすくと成長しています。

話は変わりますが、“大根”で連想する言葉と言えば、やっぱり“大根役者”ですよ。ところでなぜ、下手な役者を“大根(役者)”と呼ぶのか知っていますか。語源は、大根は白いことから「素人」とかけたとする説や、下手な役者ほど白粉(おしろい)を塗りたくることとかけたとする説など、大根の白さを語源とする説、大根は滅多に食あたりしないことから、「当たらない役者」の意味に由来する説。大根の鈍重な形から連想したとする説など、諸説あります。まあ、いずれにしても、年末ごろには収穫期を迎えます。“大根”が食卓の主役になるかどうかはわかりませんが、自分で作った作物は、きっと、いつも以上においしく感じるはず。どうぞ“おでんの具”などにして、家族で食して欲しいと思います。

